

### 383) 祝福

ものごころついたときには 俺達に父はなかった  
妹が高校を出て 俺達はひと息ついた  
母 50 妹 18 それに俺 23 歳  
あの日から 5 年が経って 妹が結婚をする

嫁入りの道具類とて なにもなく俺は悲しい  
妹は愛があるから いいんだと笑ったけれど  
おふくろとおれにできるは ささやかな支度金だけ  
妹にしてやれること それはただ祝福すること

いま俺は若い二人の はなむけに言っておきたい  
愛し合いどんなときでも 信じ合いつらいときには  
ぼくたちのふるさとのこと 思い出し耐えてほしいと  
人生の門出にあたり 行く道に倖せあれと

いま俺が妹夫婦に できることそれは祝福  
ふるさとでともにすごした 春秋の幼き日々を  
ありありと心に刻んで 妹を送り出すこと  
嫁ぎ行くわが妹よ 世界一倖せであれ！

妹にしてやれること それはただ祝福すること  
嫁ぎ行くわが妹よ 世界一倖せであれ！  
世界一倖せであれ！ 世界一倖せであれ！